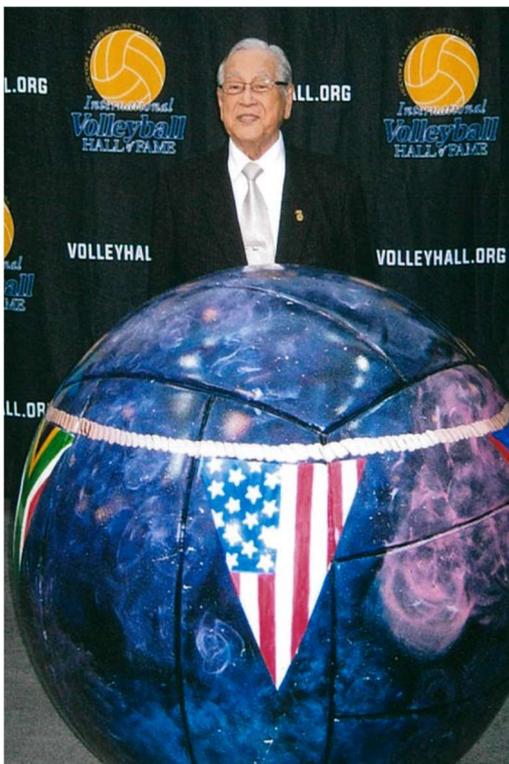


豊田博氏の国際バレーボール殿堂入りについて

公益財団法人日本バレーボール協会元専務理事、会長代行の豊田博(とよだ・ひろし)氏が国際バレーボール殿堂(International Volleyball Hall of Fame)入りを果たしました。

2018 年 11 月 10 日(土)、殿堂入りセレモニーがマサチューセッツ州ホリヨーク市(殿堂の所在地)でとりおこなわれました。世界のバレーボール界で顕著な功績を認められた指導者として、理事会と選考委員会の投票で選ばれたものです。

この殿堂はバレーボール発祥の地アメリカで 1978 年に設立されたもので、日本からは 8 人目の殿堂入りとなります。



写真左/豊田博氏 殿堂の入口にて

写真右/豊田博氏 表彰リングの授与を受けて (左から豊田博氏、元ロシア代表選手 EVGENIYA ARTAMONOVA ESTE/エフゲーニャ・アルタモノワ・エステス氏、元オランダ代表選手 BAS VAN DE GOOR/バス・ファンデホール氏)

<豊田博氏の経歴>

生年月日:1933年10月14日 出身地:山口県光市

現職:千葉大学名誉教授、国際バレーボール連盟(FIVB)マスターコーチ、日本バレーボール指導者協会会長、東京都ソフトバレーボール連盟会長

学歴:1957年 日本体育大学体育学部卒業

<主な業績>

1957年～現在:東京大学、千葉大学、日本体育大学大学院、放送大学などで、長年にわたりスポーツ科学・バレーボールの科学的研究を推進し、バレーボール関係の著作論文等を50篇以上著述している。又大学では学生指導や学部運営、教育研究活動で活躍。2013年瑞宝中綬章を受章。

1963年から全日本男女ナショナルチームの強化コーチとして指導にあたり、科学的研究に基づいた新しいトレーニング法を開発し、全日本チームの躍進の基礎を作った。バレーボールの教育的価値や生涯スポーツの重要性に着目し、全日本小学生バレーボール連盟、日本ソフトバレー連盟を創設し、国内で1000回を超える教室・クリニックを指導してきた。

1980年から国際バレーボール連盟(FIVB)のルール委員長、コーチ委員長、技術委員長を歴任

1998～2000年 国際バレーボール連盟理事

1997～2005年:日本バレーボール協会副会長・専務理事

<その他>

- ・日本オリンピック委員会選手強化本部委員、日本体育協会評議員、常務理事兼生涯スポーツ推進専門委員長などを歴任。
- ・国際大会運営責任者及び国際審判員として、6回のオリンピック大会を含め、50回を超える主要国際大会での役員歴を持つ。
- ・国際コーチコースの主任インストラクターとして、海外で50回以上の指導に当たり、指導者の育成に貢献し、バレーボールの発展に努力した。

以上

発行:公益財団法人日本バレーボール協会

発行人:代表理事 専務理事 八田 茂

電話:03-5786-2100 FAX:03-5786-2109

E-mail: generalaffairs@jva.or.jp